

業況観測アンケート（平成30年度 第4四半期）調査結果
（前年同期比）

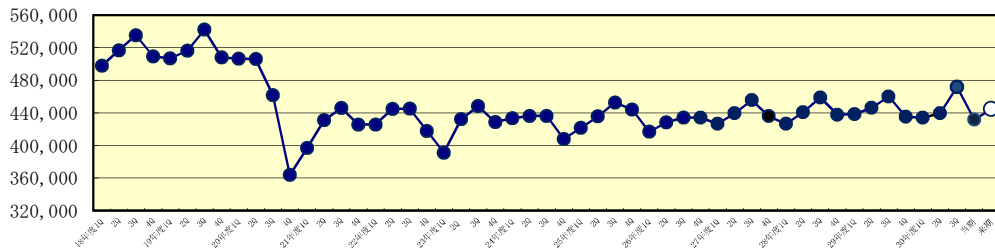
H31.4.23

集計企業数 33社

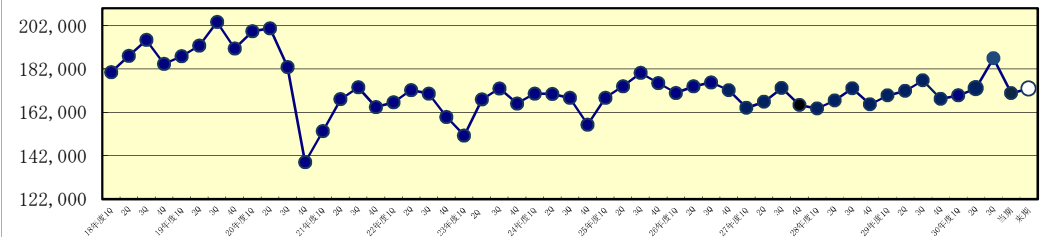
（アンケート値指数換算）

	出荷数量 動向			出荷金額 動向			製品在庫 (期末)			製品価格 動向		
	前期	当期	来期	前期	当期	来期	前期	当期	来期	前期	当期	来期
+50%超	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
+45%~+50%未満	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.2	0.2	0.0	0.0	0.0	0.0
+40%~+45%未満	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
+35%~+40%未満	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
+30%~+35%未満	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
+25%~+30%未満	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.2	0.0	0.0	0.0
+20%~+25%未満	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
+15%~+20%未満	0.0	0.0	0.0	0.6	0.0	0.0	0.4	0.4	0.0	0.0	0.0	0.0
+10%~+15%未満	0.4	0.0	0.0	0.8	0.0	0.3	0.0	0.0	0.0	1.0	0.5	0.4
+5%~+10%未満	4.7	0.1	10.0	4.1	2.0	3.7	0.0	0.4	9.6	0.0	0.4	0.5
+5%未満	2.8	6.8	6.0	12.0	24.0	11.2	3.0	9.3	8.1	23.2	23.8	13.3
± 0%	9.9	11.6	14.1	10.6	2.2	17.3	14.5	16.6	9.0	7.9	7.0	18.0
-5%未満	15.2	12.8	2.9	4.2	3.3	0.5	1.7	3.4	5.9	0.5	1.3	0.8
-5%~-10%未満	0.0	1.3	0.0	0.8	1.3	0.0	10.5	2.7	0.2	0.3	0.0	0.0
-10%~-15%未満	0.1	0.3	0.0	0.0	0.3	0.0	0.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
-15%~-20%未満	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
-20%超	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

出荷数量動向（トン）



出荷金額動向（百万円）



業種別動向観測アンケート（平成30年度第4四半期）調査結果

H31.4.23

（前年同期金額比）

集計企業数 31社

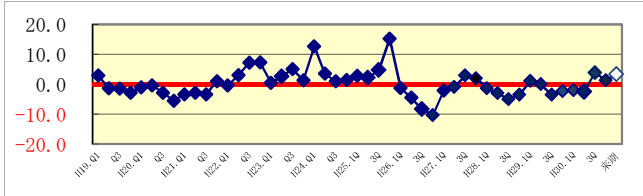
当期(1~3月)実績

建築	建築資材	道路車両		船舶・構造物	機械・電気 機械・金属	木工製品	家庭用	トラフィック ペイント
		新車	補修					
1.3	5.7	-0.5	-1.4	4.4	3.1	-0.2	0.7	5.7

メーカーのコメント例

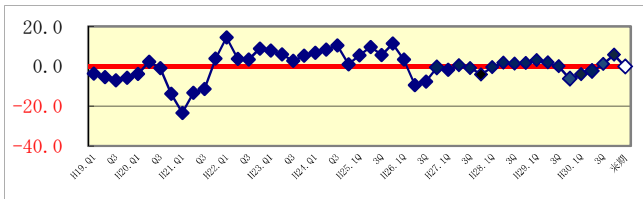
建築・外装

・企業の旺盛な設備投資により堅調に伸びた市場があった。天候が安定し工事が順調に進み、暖冬により降雪地帯の物件の動き出しが早かったことも需要を少し押し上げた。



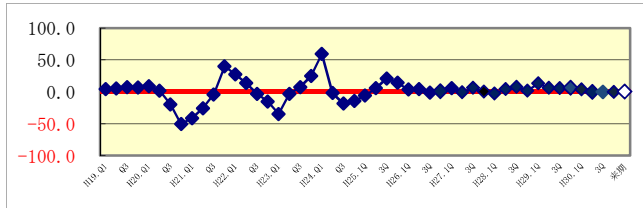
建築資材

・1月、2月は新設住宅着工数が昨年同月比で増加。アルミ建材向けが堅調に推移した。カラー鋼板は非住宅用途への拡大が継続。昨夏の自然災害の復興需要も増加要因となっている。



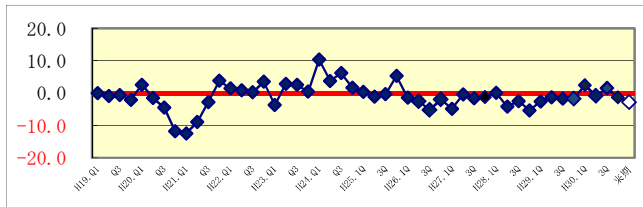
新車

・1月、2月の国内自動車生産台数は前年同月比でプラス推移。4Qの自動車外板向けは概ね横ばい傾向。内装・部品向けプラスチック用塗料は弱含みの推移。全体としてほぼ横ばいとなった。



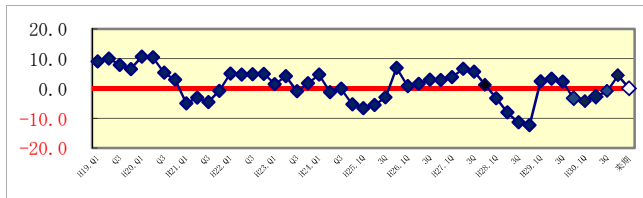
補修

・暖冬の影響もあり、事故が少なくBP入庫が減少。一方、大型車の架装分野における需要は底堅い。全体としてマイナス推移。



船舶・構造物

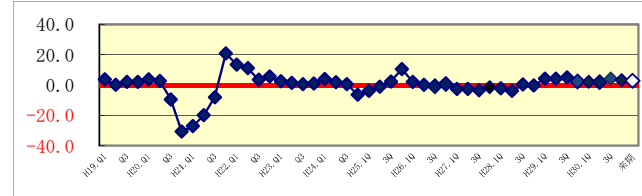
・新造船向けはコスト環境が厳しく依然低調であるが、修繕船需要は比較的活況であった。
・構造物は民間需要において堅調に推移した分野があった。



メーカーのコメント例

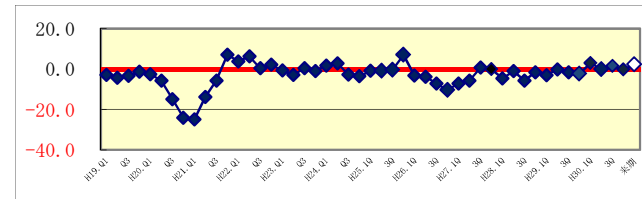
機械・電気機械・金属製品

・機械、鋼製家具向けは堅調に推移。一方、デジタル機器向けは弱含みの推移も見受けられる。中国経済減速の影響が建設機械や工作機械向け受注に始まっている。



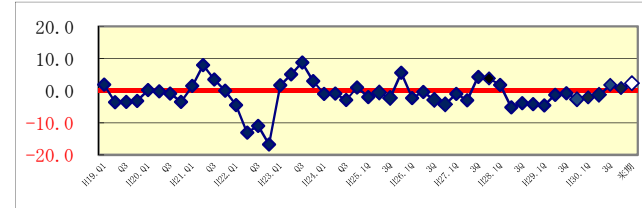
木工製品

・公共建築等で木材使用事例が増えてきた感があるものの、木工塗料需要の増加に結びついていない。住宅設備関連でプラス傾向も見られるが総じて厳しい状況が続く。



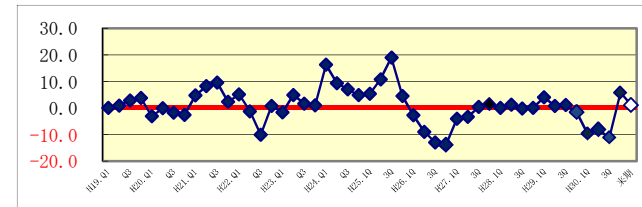
家庭用

・暖冬や天候に恵まれたこともあり1月、2月はDIY関連の商材が好調に推移した。全体として微増となった。



トラフィックペイント

・前期は自然災害による舗装工事遅れの影響があったが、好調な出荷に戻りつつある。近年の舗装用アスファルト価格カルテル不正問題の影響が懸念される。



- ◆ 業種別動向観測アンケート（四半期）の回答の「前期」・「当期」データを月次の解析方法に従って計算した。
- ◇ 「来期予測」回答データを同様に計算した。

全体

・今年度好調に推移した工業用（機械・電気機械・金属製品）において中国経済減速の影響が出始めている。オリンピックや都市再開発等の需要による後押しは続くも力強さに欠ける。

